第43回　「MCP: Advanced Topics」
Anthropic 公式 Claude Academy

Claude Code

記録と進み具合を知らせる

公式の教材を、順番に

原石工房
隠れた才能に気づき、花開く

この資料について

原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）MCP: Advanced Topics ／ Log and progress notifications

原文は、決まりごとの2026年7月28日の改訂より前の MCP を教えています

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/log-and-progress-notifications ／ 非公式の日本語訳

全51回の、今日はここ

原石工房

Claude Code 101 — 第1回〜第12回

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

Claude Code in Action — 第13回〜第21回

13 14 15 16 17 18 19 20 21

スキル — 第22回〜第27回

22 23 24 25 26 27

手分け（subagents） — 第28回〜第31回

28 29 30 31

MCP 入門 — 第32回〜第40回

32 33 34 35 36 37 38 39 40

MCP 応用 — 第41回〜第51回

41 42 **43** 44 45 46 47 48 49 50 51

今日はここ　第43回

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/log-and-progress-notifications ／ 非公式の日本語訳

今日のレッスン

MCP: Advanced Topics の第3回

原題　Log and progress notifications

訳　記録と進み具合を知らせる

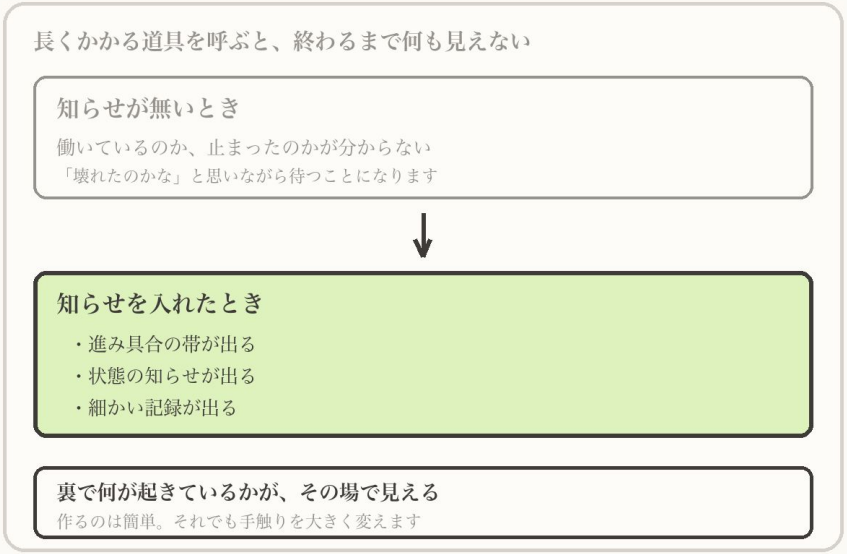
長くかかる仕事の途中で、何が起きているかを見せます

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/log-and-progress-notifications ／ 非公式の日本語訳

① 黙っている時間を、なくす

原石工房

原題 Logging and progress notifications



黙っている時間に、声を出させる

長くかかる道具は、終わるまで何も見せません

働いているのか、止まったのかが分からない

知らせを入れると、裏で何が起きているかがその場で見えます

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/log-and-progress-notifications ／ 非公式の日本語訳

② サーバー側は、2行足すだけ

原石工房

原題 How It Works



サーバー側は、2つの働きだけ

道具の働きには Context という入れ物が自動で渡されます

context.info()　記録の文を送ります

context.report_progress()　いまの数と全体の数を送ります

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/log-and-progress-notifications ／ 非公式の日本語訳

③ つなぐ側は、受け取る係を作る

原石工房

原題 Client-Side Implementation



渡す場所が、2つに分かれている

知らせを出すのはサーバー。見せ方はつなぐ側が決めます

記録の係は、やりとりを作るときに渡します

進み具合の係は、道具を1回呼ぶたびに渡します

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/log-and-progress-notifications ／ 非公式の日本語訳

④ 見せ方は、作るものによる

原石工房

原題 Presentation Options

文字だけの道具　画面にそのまま出します

ウェブのもの　WebSocket などで画面へ送ります

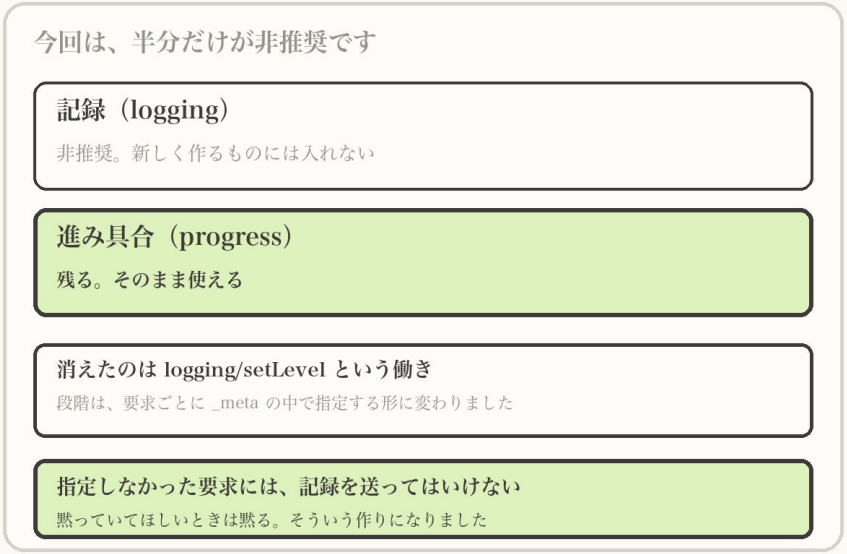
作るかどうかは自由です。全部無視してもかまいません

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/log-and-progress-notifications ／ 非公式の日本語訳

※ 補足　今回は、半分だけが非推奨

原石工房

ここから先は原文にありません



進み具合の帯は、無くなりません

記録は非推奨。進み具合の知らせは、そのまま残ります

消えたのは、段階を決める logging/setLevel という働きです

指定しなかった要求には、記録を送ってはいけなくなりました

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/log-and-progress-notifications ／ 非公式の日本語訳

※ 補足　記録の居場所が、外へ出た

原石工房

これまで

MCP の中に、記録の仕組みがあった

logging/setLevel で段階を決める

サーバーが、その段階を覚えている

→

改訂のあと

MCP の外にある本物へ寄せた

標準エラー出力に書く

または OpenTelemetry を使う

記録は、MCP が生まれる前からある仕組みでした

中にもう一度作っていたのを、外へ戻した整理に見えます

進み具合の知らせのほうは、これまでどおり残ります

仕組みは外れても、知らせる考え方は残る

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/log-and-progress-notifications ／ 非公式の日本語訳

※ 補足　知らせる考え方は、残ります

原石工房

非推奨になったのは仕組みで、考え方ではありません

途中で何も出ないものを待つのは、やはり不安です

自分で作るときも、ここは手を抜かないほうがいいと思います

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/log-and-progress-notifications ／ 非公式の日本語訳

今回のまとめ

サーバー側は context.info() と context.report_progress() の2つ

つなぐ側は、記録と進み具合の係をそれぞれ渡します

非推奨は記録だけ。乗り換え先は標準エラー出力か OpenTelemetry

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/log-and-progress-notifications ／ 非公式の日本語訳

その道具は、いま何をしていますか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く